

受け継がれる

# 水男魂

ウォーターボーイズ  
スピリット

10周年を迎えた一関高専水泳部の「漢のシンクロ公演」

2日間で約4千人を集客した水の祭典を

同校写真部と共同取材した ●取材協力 一関高専写真部

秋空と競泳パンツ。この異色の組み合わせが、見る人の心を揺さぶる。

挑戦するとあって、例年以上に注目が高まった。

シンクロナイズドスイミング（以下「シンクロ」）に取り組み国立一関工業高等専門学校水泳部（高橋明徳部長）の「漢のシンクロ公演」は11月2、3の両日、同校プールで全6回行われ、県内外から訪れた4千人のファンが、躍動感あふれる男のシンクロを楽しんだ。

04年に初公演したシンクロ

は、同校学園祭「高専祭」の目玉。年々客足は増え、学園祭の域を超えた一大イベントに。さらに、今年10周年を記念して難易度の高い「4段やぐら」に

6公演で4千人を超える動員

は過去最高。水男たちは、先輩から受け継いだ「伝統」と自らの「挑戦」をシンクロさせながら、10年の節目を飾った。

## 漢のシンクロ

WaterBoys  
10th  
Anniversary  
一関高専

### 笑顔のシンクロ

1) 公演の始まりは、男子部員20人の息の合ったタイトルコール／2) プールサイドは、立ち見が出るほどの大盛況。部員たちの演技に歓声が沸き起こった／3) 部員と観客との距離はわずか数十センチ。間近で見る「陸ダンス」は、互いの心の距離も縮める笑いあふれるパフォーマンスが魅力



### 心のシンクロ

7) 5月、例年より3カ月早く練習を開始。成功に向け、気合いが入るのは裏方も一緒。情熱と使命感は演技者と変わらない／8) 公演直前、気持ちを一つに士気を高める部員たち／9) 10周年の節目を盛り上げようと、13人の水泳部OBが応援に駆け付けた。わずかな練習時間にも関わらず、現役の気持ちそのままに迫力満点の演技を披露



### 技のシンクロ

4) 緊張感が会場中に広がった「4段やぐら」完成の瞬間／5) 水しぶきを上げ、息の合った手技を披露／6) 女子部員たちによる前座。男子顔負けの演技で華をそえた



### 音・水・光のシンクロ

10) 軽快な曲に合わせてアクロバティックなジャンプを連発／11) 「成功」の二文字を目指し、同じ光を見つめる／12,13) 水滴や水しぶきがたくましさとしさを引き立てる鍛えられた肉体

